

ナラ枯れで気になる道路への倒木

恐れもあります。何か対策を考えておられるのでしょうか。(名張市桔梗が丘、71歳、無職男性)

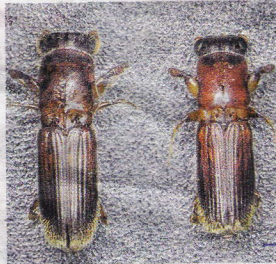
☒健康づくりのため、毎日の時間ほど名張市内をウォーキングしています。今年の夏、紅葉の季節でもないのに葉が茶褐色になっている木が多数目に付きます。

この現象をインターネットで調べてみると、カシノナガキクイムシが媒介する「菌」によつてブナ科樹木が枯れる「ナラ枯れ」という伝染病だそうです。この虫は年数の経

つた太い幹を好み、人や車などが行き交う道路沿いや尾根筋に被害が広がるらしいです。

ナラ枯れが広がっているように思われます。すぐに被害が出るわけではなく、いでしょうが、今後、人や車が通る道で倒木が発生したり、同じブナ科のクリにも影響が出る

▲カシノナガキクイムシの成虫
川県林業研究所提供



ウォーキングで訪れる東山ふれあいの森を始め、桔梗が丘西から西原町に抜ける市道、西田原地区の国道368号沿いなど、日々目にする範囲でも

木が集団で枯死する「ナラ枯れ」とみられる木々の変色が目立っています。

名張 伐採など適切に処分対応します

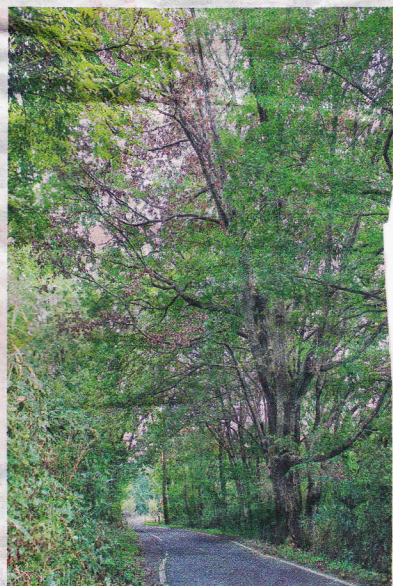
〈名張市維持管理室より回答〉 昨今、伊賀地域の里山では、コナラやクヌギなどのナラ、カシ、シイ類の樹

木が集団で枯死する「ナラ枯れ」とみられる木々の変色が目立っています。

路沿いにもナラ枯れによる被害樹木が見受けられましたので、車両や歩行者などの通行の安全を確保するため

関係機関と連携して被害樹木の伐採など適切に処分対応してまいります。

引き続き、パトロールなどにより維持管理に努めて参りますが、今後もお気付きの点がございましたら、連絡いただきますようお願いいたします。



▲ナラ枯れで赤茶色に変色した市道沿いの樹木＝名張市東田原で